

いわての師匠派遣事業による岩手県立住田高等学校での防災出前授業の実施  
岩手大学理工学部 山本 英和

日時：令和3年11月17日（水） 14：30－15：20

場所：岩手県立住田高等学校 体育館

対象：全校生徒、教職員 91名

演題：地震のはなしー地震の被害、メカニズム、対策 岩手の地震危険度は？

住田高校において、防災出前授業を実施してきました。授業開始前、元気よく会場準備の様子や廊下ですれ違った時に大きな声で挨拶してくれる様子などを拝見し、楽しんで高校生活を満喫している様子が伺えました。出前授業では、ここ最近の被害地震のはなし、地震はどのように起こるのかについて、いざ地震が起こった場合の対応、事前の対策などの話をさせていただきました。できるかぎり写真、動画などを利用して、眠くならないような授業を心がけたつもりです。クイズ形式で地球や地震に関することを生徒に質問しても、みなさん元気よく反応してくれました。感謝いたします。

高校1年生は大震災の時はまだ小学校にも入学していない年代です。震災後数年間はこのような出前授業をさせていただいても、生徒さんたちは「その話、知っているよ」という反応が多かったのですが、ここ最近は「はじめて知った」という感想が増え始めたような気がします。報道などでの地震災害や研究成果発表の露出が減ってきているからでしょうか？

授業後にいただいた感想では大震災のことは知っていても、その後他の地域で起こった地震被害は知らなかったようです。単純に現代の子供達が（他地域の）ニュースを見なくなっているからでしょうか？住田高校での出前授業を依頼されたため、住田町における自然災害に危険度を中心に授業内容を組み立てました。住田町は北上山地に位置するため急傾斜特有の土砂災害などの危険度が高い一方、軟弱地盤による地震動増幅の程度は比較的低いことなどを紹介しました。住田町の防災マップを拝見するとよくわかるのですが、やはり山間部を通る道路は場所によっては危険な箇所が散見されます。気をつけましょう。

授業終了後、校長先生との懇談で、住田町出身の生徒さんは実は少なく、多くの生徒は大船渡や陸前高田、遠野から通ってきていることをお聞きしました。防災に関する関心は当然住んでいる地域によっても異なるはずですが、海岸平野にお住まいの場合は、津波の危険はもちろん、軟弱地盤の地震動増幅による家屋の倒壊なども地震の際には気をつける必要があります。

（山本英和、地域防災研究センター&社会基盤・環境コース）



写真は住田高校様からいただきました。感謝します。